

## 東邦工業、2工場増設

### 本社敷地 1工場はナガトに貸す

自動車部品製造の東邦工業（岩国市）は、生産能力を増強するため、本社敷地内に2工場を増設する。

うち1工場は、同社の金属部品の熱処理を手掛けているナガト（広島市南区）に貸し、物流コストを削減する。2工場とも2019年12月の操業開始を予定する。

両社は24日、岩国市と進

歩協定を結んだ。投資額は

約80億円。市は投資や従業員の雇用に対し助成する。

東邦工業は、自動車部品メーカー音戸工作所（呉市）の100%子会社。両社は今年6月1日付で合併する予定で、完成時には、音戸工作所の工場になる。

新工場は7千平方㍍で、

変速機やエンジンの歯車を

中心に製造する。新規雇用は約60人、当初の売り上げは年間約21億円を目指す。

東邦工業の山岡孝社長は「音戸グループの中でも有力な生産拠点になる」と位置付けた。

ナガトは3千平方㍍の工場で、東邦工業が製造した部品の熱処理を担う。内田弘之社長は「設備の導入に少なくとも約5億円が必要」と、新たな投資を見込む。新規雇用は15人、年間約2億円の売り上げを計画している。（藤田智）